



文責
伊平屋村
教育委員会
松田 哲市



伊小・伊中・野甫小中の取り組み

子ども達と向き合い学力向上に励む

三校で、学校訪問を実施

令和三年五月十八日(火)に伊平屋小学校、二十日(木)に野甫小中学校、五月二十一日(金)に伊平屋中学校において、教育委員会主催による学校訪問を行った。学校訪問のねらいは、「教育委員会と学校が一体となり、学力向上を推進すること」である。はじめに授業参観を行った。授業では一人一人の子ども達と向き合いながら取り組む教師の姿や学習課題に真剣に向き合い取り組む子ども達の姿が見られた。その後、校内視察にて修繕が必要な箇所の確認や懇談会が行われた。懇談会では各学校の学校長による学校経営方針や昨年度の成果や課題の報告、今年度の学力向上への取り組み事項などの報告があった。その後、教育委員及び委員会職員からの感想発表や意見交換、教育長による指導助言が述べられた。

各学校の学校長による学力向上推進「学校デザインシート」のもと、学校職員が一つのチームとなって、学校課題や学力向上に取り組んでいくことに今後も期待したい。



伊小2年生の授業の様子



伊小3年生の学級目標

【学校訪問、授業参観後の感想(良さ)から】

<伊平屋小学校>

- ・共通の掲示物「いへやっ子7つの誓い」「学習の5つの誓い」が各教室に掲示されている。
- ・授業の開始がスムーズで、児童の学ぶ姿勢が良い。
- ・子どもの発言を認めながら、授業を進めていた。
- ・統一したノート指導をしている。
- ・発表者に対する子ども達の聞く態度が良かった。
- ・授業において、教師の指示が明確で分かりやすい。

<野甫小中学校>

- ・教師がしゃがんで子どもの目線で、声かけをしていた。
- ・児童生徒は小人数だが、学校も学校全体も掲示物が多く、清潔感もあった。
- ・前時の振り返りや具体物(動物のポスター)を使って説明している。
- ・児童2名であるが教師からの問いかけに、元気よく反応していた。
- ・最後のまとめでは、分かったことを1人ずつ発表させていた。
- ・黒板の文字が読みやすく、色使いの工夫もあり、良い。

<伊平屋中学校>

- ・生徒の発言を引き出すのが上手、生徒の目を見て話していた。
- ・生徒の反応(答え)をしっかり待ち、できたことを褒めていた。
- ・普段からの教師と生徒の信頼関係が感じられた。
- ・授業で困り感のある生徒の支援体制などの工夫が見られた。
- ・となりの席の生徒と発表し合う場面(ペア学習)があり、対話的な学びで良かった。
- ・授業を理解しようと取り組む姿から子ども達の成長を感じた。
- ・反応の良い生徒が多い。また課題も取り組みたくなるような内容であった。
- ・過去の既習事項を振り返りながらの解説があった。
- ・生徒のノートを机間指導しながら、助言などを行っている。



伊小1年生の授業の様子



野甫小2年生の授業の様子



伊中1年生の授業の様子